

もっと

おさかな食べようネットワーク交流シンポジウム

～魚食普及活動者全国大会～

ハロー

主催：社団法人大日本水産会
後援：おさかな普及協議会普及委員各社・団体、JF 全漁連、水産庁、農林水産奨励会、全消連、コープネット事業連合などを予定
とき：平成 24 年 11 月 15 日（木）13:20～17:05（受付開始 12:45～、+懇親会）
会場：石垣記念ホール（東京都港区赤坂 1 丁目 9-13 三会堂ビル 9 階）
定員：180 名（お申込み先着順となります）

概要

第一部 活動者報告

1. 「おさかな食べようネットワーク」現況報告-----事務局
2. 本会調査事業「水産物消費嗜好動向調査に見る消費の変化」---事務局
3. 「分野別シンポジウムを振り返って」-----東京海洋大学 馬場治教授
4. 各地魚食普及活動者報告
 - (1) 北海道/札幌市中央卸売市場水産協議会魚食普及委員会
 - (2) 東北/株式会社仙台水産
 - (3) 関東/東京魚市場卸協同組合
 - (4) 中部/中部水産株式会社
 - (5) 近畿/株式会社うおいち
 - (6) 九州/長崎県漁業協同組合連合会

第二部 討論・意見交流

- ・コーディネーター 東京海洋大学海洋科学部 馬場治教授
- ・第一部は活動者に来場者を交え、パネルディスカッション・意見交流を行います。陸地面積の 12 倍を越える海洋面積を有し、南北に延びる海洋国日本で、各地域ではその特性、産物を熟知するものの、消費者・市場に伝達するには難しさ、苦勞もある。関係者の水産市場アクセス、水産物消費拡大の方策、連携、協働とは。そしてこれからのネットワークの役割につき、意見交流、討論をします。
- ・後段では、水産庁の取組み「魚の国のしあわせプロジェクト」の進捗について、お話を頂きます。

終了後、懇親会をお楽しみください。

よろしく!

詳しくは(社)大日本水産会ホームページ www.suisankai.or.jp/ 「お知らせ」

サイト 2012/10/10 「11 月 15 日開催 おさかな食べようネットワーク交流シンポジウムの開催案内」を参照ください。

社団法人大日本水産会主催
「おさかな食べようネットワーク」交流シンポジウム
(プログラム)

開催日：平成24年11月15日(木) 13:20-17:05 (受付開始：12:45)

会場：石垣記念ホール
(東京都港区赤坂1丁目9-13 三会堂ビル9F)

タイトル：『魚食普及活動者全国大会(仮称)』

12:45 開場・受付開始

13:20-13:30 主催者開会あいさつ

13:30-15:30 第一部：活動報告・発表

1. 「おさかな食べようネットワーク」現況報告-----事務局
2. 本会調査事業「水産物消費嗜好動向調査に見る消費の変化」---事務局
3. 「分野別シンポジウムを振り返って」-----東京海洋大学 馬場治教授
4. 各地域魚食普及活動者の報告

(1) 北海道/札幌市中央卸売市場水産協議会魚食普及委員会

本田 敬一委員長

(2) 東北/株式会社仙台水産

廣澤 一浩営業企画部長

(3) 関東/東京魚市場卸協同組合

加納 弘士常務理事

(4) 中部/中部水産株式会社

神谷 友成販売促進部長

(5) 近畿/株式会社うおいち

土屋 豊市場営業本部付き

(6) 九州/長崎県漁業協同組合連合会

松浦 洋一郎総務指導部指導課長

15:10-15:25 (休憩)

15:25-16:30 第二部：討論・意見交流

・コーディネーター 東京海洋大学 馬場治教授

・パネリスト 第一部魚食普及活動者各位

16:30-16:40 取りまとめ 東京海洋大学 馬場治教授

16:40-17:00 水産庁の取組みについて；「魚の国のしあわせプロジェクトの近況」

水産庁漁政部企画課 新井ゆたか課長

17:00-17:05 主催者閉会挨拶

17:05-18:30 懇親会(会場ロビーにて)

《コーディネーター紹介》

東京海洋大学海洋科学部 馬場 治教授

高知県生まれ、1984年東京大学大学院農学系研究科博士課程修了、現在、東京海洋大学（旧東京水産大学）海洋科学部教授。漁業管理の制度や実態、漁業経営、水産物流通など、水産業の社会経済的側面に関する教育研究に携わる傍ら、農林水産省独立行政法人評価委員会農業分科会専門委員、東日本大震災復興構想会議検討部会専門委員等を勤めておられます。

《パネリスト紹介》

① 【北海道】札幌市中央卸売市場水産協議会魚食普及委員会委員長 本田 敬一氏

長年にわたり札幌市中央卸売市場指定卸売業カネシメ高橋水産株式会社で、職務を全うされ、現在は同社相談役として、また水産物消費減少が止まらない状況の中、魚食普及委員会委員長として多面的な普及活動に尽力されている。

ホームページは、<http://www.city.sapporo.jp/eisei/shokuiku/suishinkaigi/>

② 【東北】株式会社仙台水産営業企画部長 廣澤 一浩氏

東日本大震災被災地域に立地する中、同社は社内で放射性物質自主検査を行い、その結果を公表するなど、風評被害に負けない「食べて応援！水産業の復興」として魚食普及に尽力、その担い手として活動、旬のおさかな“ムッシュ廣澤”と呼称されている。

ホームページは、<http://www.sendaisuisan.co.jp/>

③ 【関東】東京魚市場卸協同組合常務理事広報文化担当 加納 宏二氏

築地市場内に立地、昭和27年に設立され、組合員726事業所を有し、場内外の組合員の共同事業を運営する共同事業組合で、常務理事の傍ら広報文化を担当されている。築地市場「魚の日まつり」の運営を担当されるなど、魚食普及活動に取り組んでおられる。

ホームページは、<http://www.touoroshi.or.jp/>

④ 【中部】中部水産株式会社販売促進部長 神谷 友成氏

中部地域の中心地にある名古屋市中央卸売市場本場内にある水産卸売業3社の内の1社に所属し、水産物をより多くの消費者に届けるべく、販売促進部門のご担当です。

ホームページは、<http://www.nagoya-chusui.co.jp/> です。

⑤ 【近畿】株式会社うおいち市場営業本部営業広報課付 土屋 豊氏

近畿地域の中心地にある大阪市中央卸売市場本場内にある、水産卸売業2社の内の1社であり、創業以来60年の歴史を有し、人口減少や少子高齢化、食の安全安心の追及、さらに物流構造の変化など、水産物流通業界を取り巻く大きな環境変化の中、水産物販売拡大を目指して、食育、魚食普及活動に尽力されています。

ホームページは、<http://www.uoichi.co.jp/> です。

⑥ 【九州】長崎県漁業協同組合連合会総務指導部指導課長 松浦 洋一郎氏

平成元年同漁連に入会后、東京事業所長など漁連事業の中核部門を歴任、長崎水産物の地産地消・都消に取組み、現在は長崎県漁連本部で指導課長の役職。関係団体・顧客との消費拡大連携・協働、おさかな教室など「海とともに、人とともに」をキャッチフレーズに、魚食普及事業に取り組んでおられる。

ホームページは、<http://www.jf-net.ne.jp/nsgyoren/> です。

《特別ゲスト紹介》

○ 水産庁漁政部企画課長 新井 ゆたか氏

国民の「魚離れ」を食い止め、多様な水産物に恵まれた海洋国日本に生活する幸せを、国民が実感でき、魚に関わるあらゆる人々が一体となり、魚の消費拡大を推進することを目的としてスタートした「魚の国のしあわせ」プロジェクトの進捗とこれからにつきお話を頂く。関連情報のホームページは、<http://www.jfa.maff.go.jp/test/kikaku/sakanakuni.html> です。

(以上)

シンポジウム参加申込書

シンポジウム名：「おさかな食べようネットワーク交流シンポジウム 魚食普及活動者全国大会」

開催日時：平成 24 年 11 月 15 日（木）13:20-17:05（開場：12:45）

※終了後、ホールロビーで懇親会をお楽しみください。

開催場所：石垣記念ホール

（東京都港区赤坂 1 丁目 9-13 三会堂ビル 9F）

参加希望者：申込みされる方の氏名、参加人数を以下の表に記載、ご連絡をお願い致します。席数が限られますので、参加難しくなる場合もございます。
お早めに申し込みをお願い致します。

申込み団体・企業名	
申込者名	
参加人数	
連絡先	
TEL/FAX 番号	
E メールアドレス	

参加申込書送付先：(社) 大日本水産会 魚食普及推進センター

FAX の場合： 03-3582-2337

E メールの場合： ishikawa@suisankai.or.jp

問合せ先： TEL 03-3585-6684 (社) 大日本水産会 魚食普及推進センター

